

浦舟だより

令和2（2020）年11月2日

第7号（第255号）

横浜市立浦舟特別支援学校
E-mail ysurafun@edu.city.yokohama.jp

幸せになること

校長 長岡 利保

あの夏の酷暑が嘘のように、秋の色が濃くなってきています。寒さも日に日に増してきているようで、衣替えのタイミングが難しくなってきました。特に、朝起きて散歩に行くときに、何を着ていくか考えてしまいます。秋服か冬服かのタイミングが難しいですね。

みなさんは、いかがですか。



毎朝、学校に配達される小学生新聞に、ユニセフ（国連児童基金）が調べた世界の国々の子どもたちの『幸福度』で、日本の「精神的幸福度」が38か国中37位という記事がありました。学力がトップクラスだった一方で、「すぐに友だ

ちができる」と答えた子どもの割合は約69%で、下から2番目だったそうです。日本の子どもたちが感じる幸福度が高いとは言えないことに心が痛みます。

ところで、私が最近読んだ本にブッダ（お釈迦様）の言葉がありました。「人生で大事なことは何か。」という問いに、ブッダは「幸せになること」と答えたそうです。では、幸せになるにはどうすればいいのでしょうか。ダライ・ラマ14世（ノーベル平和賞受賞者）の言葉によると、「愛すること。人を愛するには、その人を理解すること」だそうです。これらの言葉から察すると、【人生で大事なこと ⇒ 幸せになること ⇒ 愛すること ⇒ 理解すること】になるのでしょうか。つまり「幸せになること」は、「相手を理解すること」から始まるのでしょうか。奥が深すぎて、はっきりとは答えられません。

しかし、偉大な先人たちの言葉に耳を傾けて、自分への問いとしてとらえてみてはどうでしょうか。答えが見つからなくても、まずは考えてみるのが大切だと思いました。

食べ物の秋・書道の秋

～本校施設～

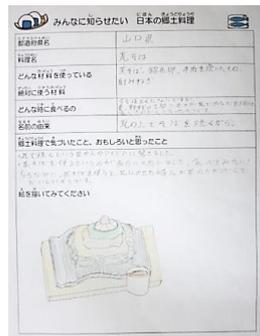
「食べ物の秋」

本校施設と各院内学級をテレビ学習システムでつなぎ、食育教室『郷土料理』の学習を行いました。児童生徒一人ひとりが、興味をもった料理について、本やネット検索を利用して調べ学習を行いました。レポートに図やイラストなどを入れることで、料理をイメージしやすくする工夫が見られました。

「書道の秋」

(中学生作品)

小4児童の作品です。筆を使って、堂々とした力強い字を書くことができました。



芸術の秋♪

～訪問指導学級～

左上は、線対称な図形を利用した、切り絵の作品です。右上は秋の星座をセロファンで表現し、縁は心電図を表した作品です。下は、ヨコハマトリエンナーレの作品を鑑賞して、心に残った作品を絵と折り紙で表現した作品です。紹介したい作品はまだありますが、今回は3つの作品を紹介しました♪



ハロウィン・院内フェスティバル

～福浦～

図工・美術の時間にハロウィンの壁面を作りました。色を塗ったり、切ったりとみんなで協力して素敵な作品になりました！

10月29日は「院内フェスティバル」がありました。当日は大勢のお客さんが来てくださいました。自分たちの商品をお客さんが手に取り「すごく上手にできているね」と言われ、嬉しそうな表情を浮かべていました！



墨絵の秋・写真の秋

～センター病院 院内学級～

「写真の秋」

身近にあるものを材料に、いつもとは違う視点で、写真を撮ってみました。写っているものは何でしょう？



答えは

2つ並んだ「けん玉」です。
(中学生作品)

「墨絵の秋」

墨の濃淡や、筆の運びの技巧を用いた、墨絵の制作活動に取り組みました。豊かな表現方法を感じる温かみある作品に仕上がりました。
(中学生作品)



11月の予定

3日(火) 文化の日
6日(金) 全校朝会〈図書〉
23日(月) 勤労感謝の日

その他の予定は、
各学級だよりにて お知らせします。

